

## 磐梯朝日国立公園の紹介

磐梯朝日国立公園には、長年にわたる火山活動によって形作られた荒々しい風景、色鮮やかな湖、高くそびえる峰々といった自然があります。またこの国立公園には、科学的にも精神的にも興味深い見どころがあります。出羽三山は、日本の最も重要な聖地の1つだと考えられています。五色沼湖沼群については、その水のさまざまな色の研究が行われています。

磐梯朝日国立公園は、日本で2番目に大きな国立公園です。日本の北東部にある福島県・山形県・新潟県の1,870平方キロにわたっています。

この国立公園は、3つの地域(磐梯吾妻・猪苗代、飯豊、出羽三山・朝日)に分けられます。

### 磐梯吾妻・猪苗代

磐梯吾妻・猪苗代の風景は、1888年、磐梯山(1,816 m)が大噴火したことで劇的に変わりました。この大きな水蒸気噴火は、磐梯山の1つの山峰の崩壊を引き起こしました。それが川をせきとめ、村々を水が襲い、数百の新しい池と湖ができました。そのうち最も壮観なのは五色沼です。緑・青・黄・赤といったさまざまな色合いの約30の沼がまとめて五色沼と呼ばれています。五色沼の色は、その水に含まれる鉱物、植生、および沼の水面に映る風景の影響を受けています。

磐梯山の北側にある桧原湖と、南側にある猪苗代湖は、キャンプや水に親しめる場所として人気があります。

### 飯豊

飯豊はこの国立公園の中でも奥まった地域であり、山に囲まれています。暖かい季節には、その山々、ブナの森、湿原が安らげる美しい場所になり、山歩きが楽しめます。冬には雪が多く、飯豊の多くの地域は通行できなくなります。上級の登山者なら、暖かい季節に、磐梯朝日国立公園の手つかずの自然に囲まれた飯豊山(2,105 m)に挑戦できます。その道は険しく、宿泊が必要です。

### 出羽三山・朝日

出羽三山とは、3つの聖なる山の総称です。3つの聖なる山とは、羽黒山(414 m)、月山(1,984 m)、湯殿山(1,500 m)のことです。出羽三山には、修験道の中心地として1,400年の歴史があるとされています。修験道とは、山で修行に努める古からの伝統であり、仏教と神道両方の要素を含んでいます。これらの三山すべてを詣でることは、生まれて死にそして再生するという旅を象徴するものです。

南には朝日岳(1,870 m)があり、ブナの森と高山植物で覆われています。夏でも雪に覆われた谷があり、登りがいのある山です。

